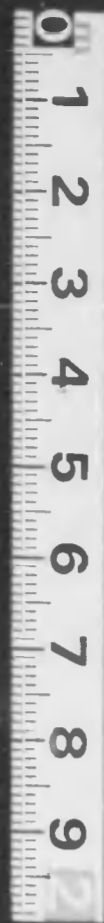


寫眞週報

情報局編輯

十月七日 第二十四一號

昭和二十一年十月七日 東京新聞社發行 第三四一號



卒業生諸君へ餞の言葉

君たちが學窓に在つた時
 同じ年頃の多くの青年は
 泥濘を、峻嶮を、熱砂を進軍していった
 しかしいくたりかは還らない

若いものの自負が、そして若いものの倫理が
 何處に立たうと安易な途をいくことを
 許さない筈だ
 さあ、進んで苦難を背負はふぢやないか

「時の立札」は他へ轉載その他に御利用下さい



軍神加藤少将 陸軍葬

京東 日二十二月九

空の軍神加藤建夫少将の陸軍葬は、月ごころはれその命日にあたる九月二十二日、東京築地本願寺において厳かに執り行はれた
 勤哭くかのやうに降る秋雨、鐘々と立ちのぼる香煙。この日このひと時のこの翼の耳星を悼んで、一億國民の心もまたひとしく悲しみにかき曇つた……明星は波心に傾ちたり、報を傳へて全軍の將士は寂として静なく、齊しく君の爲に深沈なる哀悼を捧げて勇氣愈々百倍せり……東條兼攝陸軍大臣の弔辭が切々と胸をうつた

軍神の靈前に燃香する母幸キミ刀白と三勇雄三君

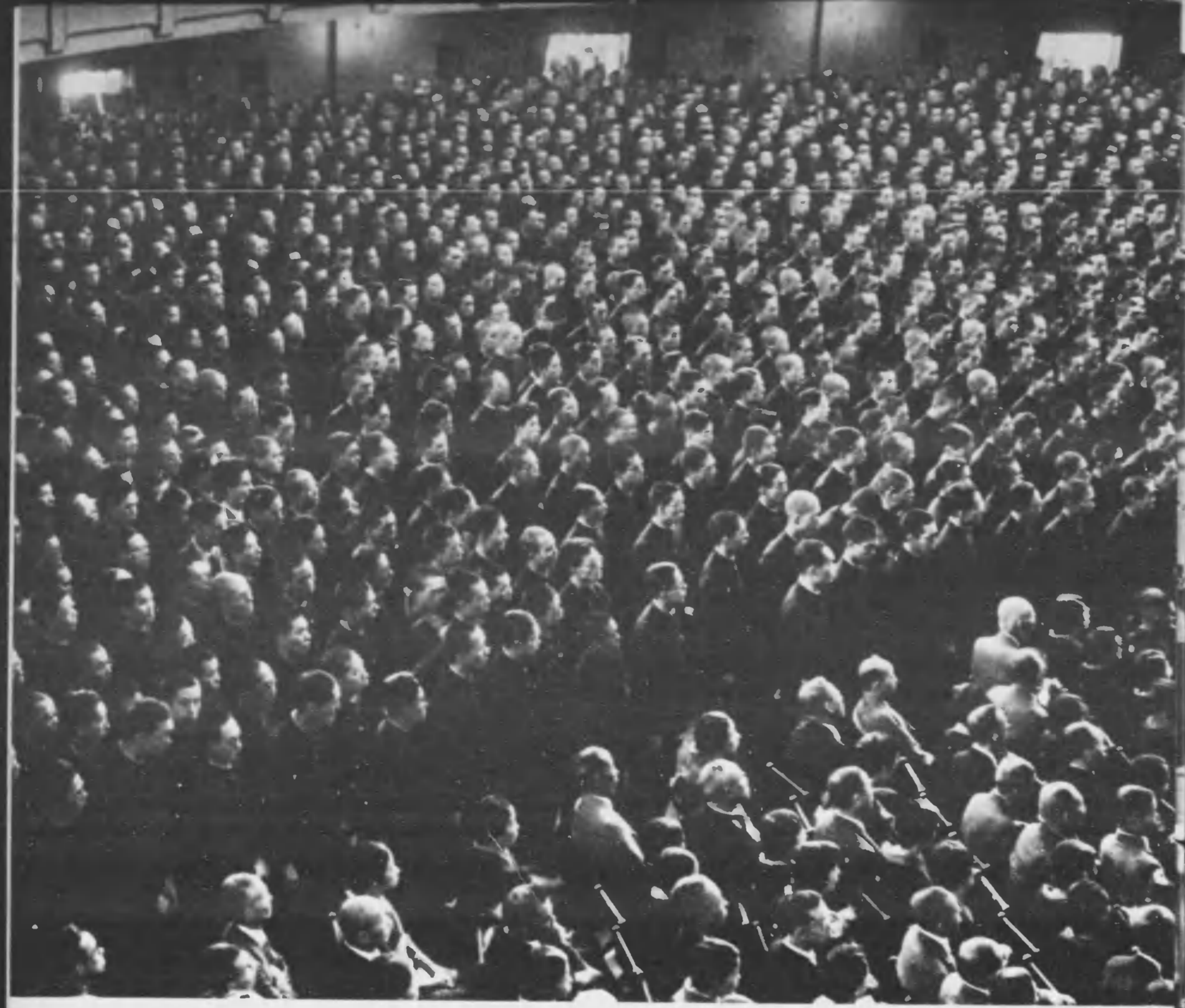


⇒ 一億國民に耳聾れた名詞、陣頭に立つ熱と力なく、記者の心をつかんでゆく

大臣を陣頭に

東條総理東大卒業生を激励

□ 総理の言葉を聞き流さずまじと耳を澄まし、東大つ決意を新たにする新卒生たち



また黄に染まぬ大銀杏にしっかりと包まれた東京帝國大學の大講堂から、東條内閣総理大臣の豪たる激励の言葉が流れ出る。九月二十五日、同校の繰上げ卒業式に出席した総理が、二百二十八名の卒業生を通じて、全國の新卒生に送る感激溢れる祝辭だ

「こゝにおいてか、私は諸君が、古歌に歌はれる『みたみわいけるしるしあり天地の榮ゆるときにあへらく思へば』の感激と熱とを日に／＼新たにし、『寒而後已』氣魄を以て、進んであらゆる困難を突破せられんことを切望し且つ強くこれを期待して已まないものであります。追力のある一語々々が、今日學業を果立つ晴れの學生の胸に、辛勞幾年、今日の日を待った父兄の胸に、じつと浸みこむ。『さうだ、陛下に馳せ参する日が来たのだ』『今日から俺も一人前み國のお役に立てるのだ。』東條総理が自ら陣頭に指揮するところ、一億あげて米英軍艦に突進するの縮圖を見せて如何にも頼もしい卒業式風景であつた



⇒ 學生時代よさらば、今こそ我等新進氣鋭が一杯の御水公をする日がきたぞ。卒業證書を手に足取りも軽く校門を辭すこの卒業證書には子の知らぬ數々の苦勞が秘められてゐる。その苦勞も今日の晴れ姿に忘れて……





大臣を陣頭に 岸商相地下千尺に入る

福島県 古河好間炭礦

選炭場—コンベヤーで運ばれる石炭は娘さんたちの鮮かな手さばきで次々と處理されてゆく

これだけの増産を確保されるには並大抵の御苦勞ではないでせう。岸さんしんみりと心からお禮をいつた

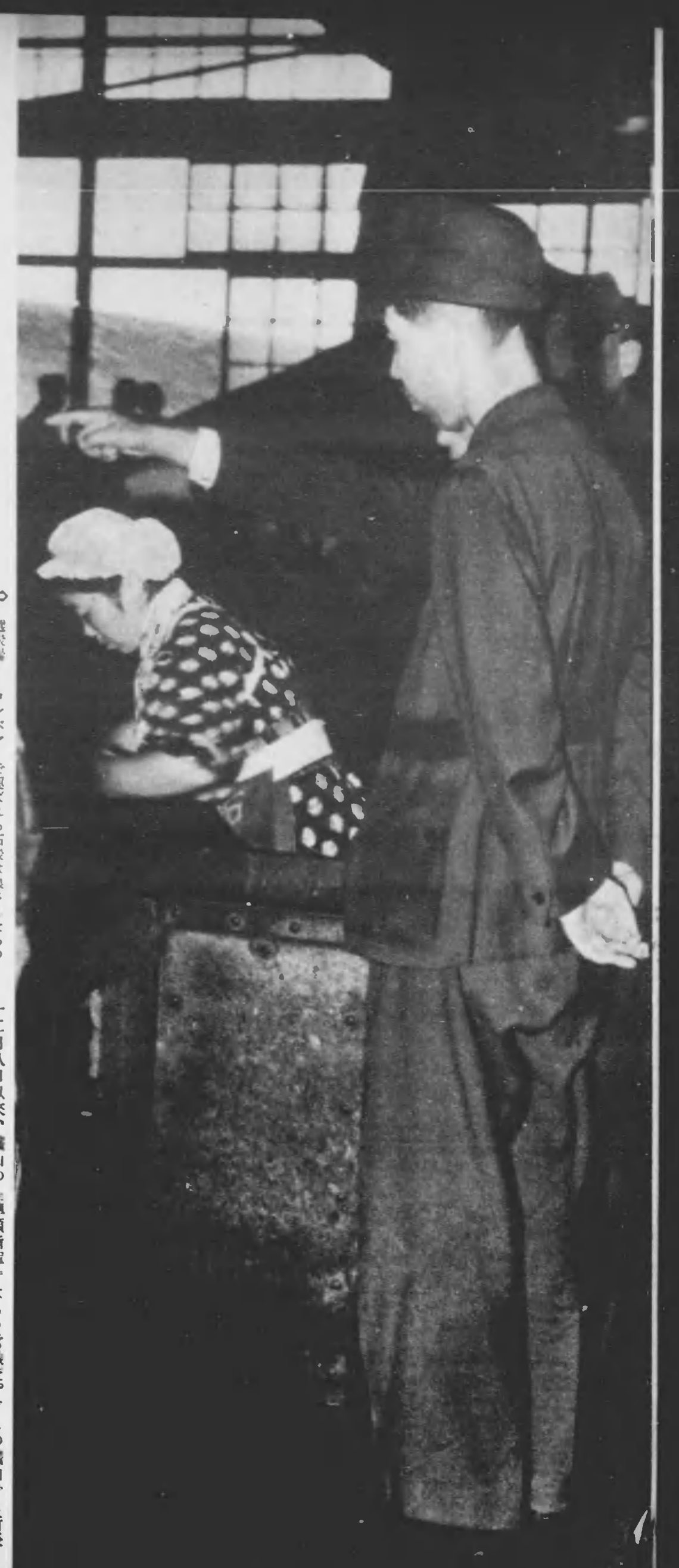


ゴロ／＼に古い音を坑内に響かせて炭車が幾度も行く。そのどれにもつやのいい石炭がすしりと積まわつてゐる



十二月八日以来、鑛山の「陣頭指揮」はもう常態だ。どこの鑛山でも所長も坑夫も全山、がつちりと必死の奮闘を揮つて増産と取組んでゐる。「この他のハンマーで米英のハンマーと決戦だ」その意氣と覺悟はもう日本の鑛山の戦士が到底深くたいんだ合言葉だ。これがほんとの日本の威力といふものだらう

「僕はどうしてもあの人たちの前に頭を下げて心からお禮をいひたいのだ」岸さんはさういつて東京を立つと常磐炭田の各炭礦を訪れ、地下数千尺の坑内に絶叫戦士を見舞つて「ありがたう、たのみますよ」といつて廻つた岸さんの眞心は北海道の鑛山にも、九州の鑛山にもびたりと通じるだらう。そして岸さんの氣持はとりもなほさず一億國民のお禮の心でもあるわけだ



一億一心



大臣を陣頭に

賀屋藏相街に説く

□ 今日では貯蓄は個人のためでなく国家のためにするのだといふことになりました」と賀屋蔵相の話は聞く

町会長、副会長、国民学校の校長さんたちは真剣に賀屋蔵相の話に聞き入る

戦時下日本のお裏所をあづかる建元総質屋大蔵大臣は東京市内三十五區に開かれる「貯蓄増強懇話会」に「何分よろしく頼みます」と陣頭指揮を振つてゐます。九月二十五日夜、芝區の懇話會會場に出席した賀屋蔵相は「私たちの必勝の信念をこの貯蓄に具現すること、それが前線の將兵に對する感謝でありませう」と述べれば、出席の町会長、副会長や国民学校の校長さんもなほ一層貯蓄報國に邁進することを約束し合ひました。私たちの僅かの貯蓄が榮り、積つて、軍艦や、大砲になることはもうよく知つてゐます。前線の兵隊さんからさへも貯金がどん／＼送られて賀屋蔵相を感激させてゐます。私たちが、さあもう一息がんばつて、目標の二百三十億をはるかに突破させて、新しい軍艦や飛行機をうんと作らうではありませんか



二 賀屋蔵相は懇話會の陣頭に立つて、町会長、副会長、国民学校の校長さんたちに對して、政府の方針、貯蓄の動向、戦時下の貯蓄の意義を説く。背景は芝區の三階公會堂。



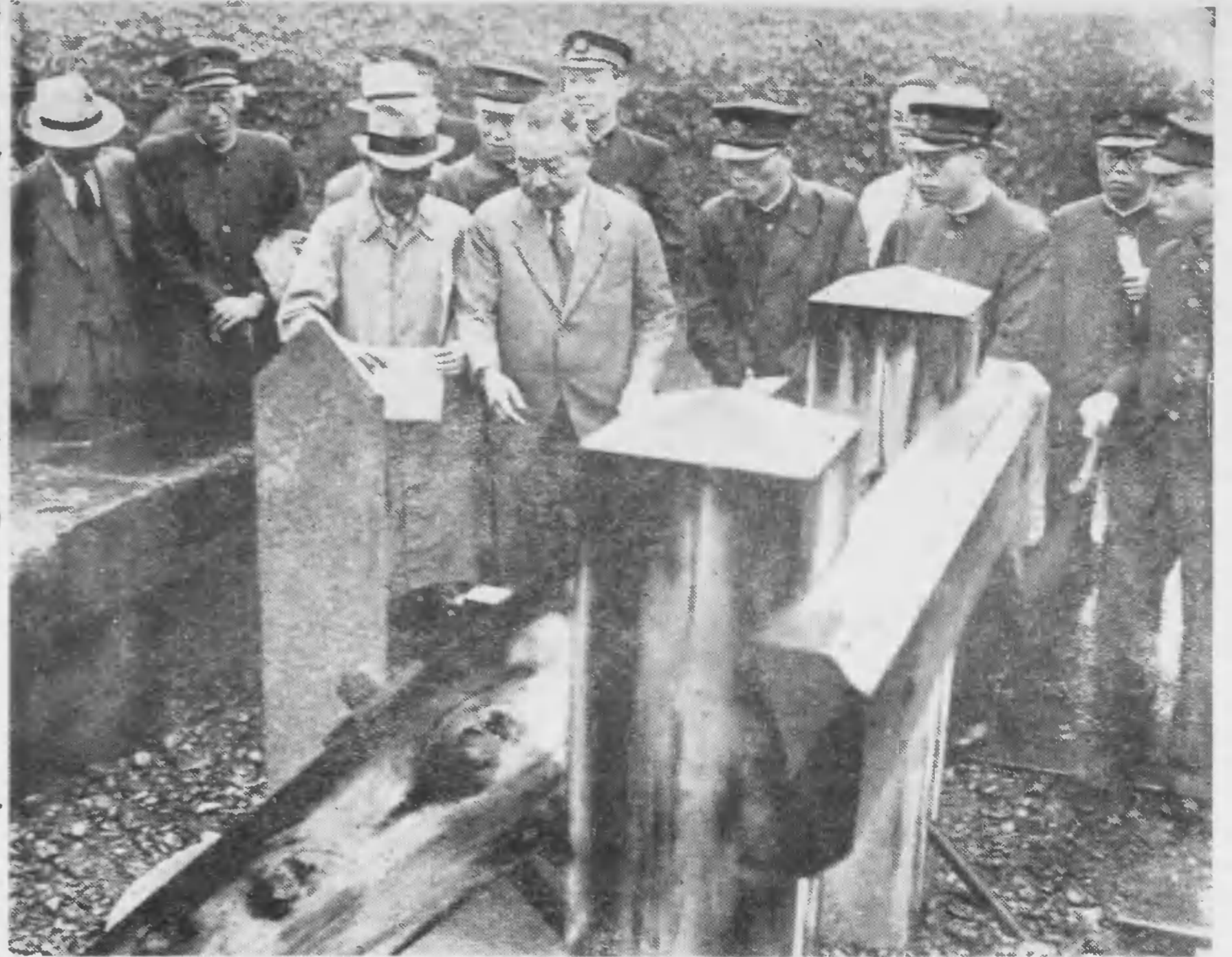
八田鐵相レールに立つ

大臣を陣頭に

⇐ 輸送戦線の第一線に現れた大臣は貨物の山を眼前に
視察する現業員を感服させる

⇨ 議員の説明を聞く間にも大臣の注目は八方に働く。
陣頭に立つ人の鋭い視線が八田鐵相の心をひくと、果
敢させるのだ

日本の鐵道建設の總指揮官八田鐵道大臣は、九月十九日朝八時突
如、魚屋さん八百屋さんで雑沓する東京築地の中央市場に現れた。こ
こは帝都七百万市民のお壺所、輸送陣の活動状況も手に取るやうに反
映される。八田さんは早速市場長室に入って、鐵道車輛の配車、入荷
状況等を詳しく聴取したのち、秋鮎や鮎のうろこにまみれながら約一
時間にわたつて場内を隈なく視察した。かくて兵站線の視察を終へた
八田さんはさらにその足で汐留、芝浦の兩驛を視察し、輸送陣を激賞
して引揚げたが、全国計數り國鐵従業員の陣頭に立つて輻輳する戦時
輸送の戦車を大きく速く廻轉させようとする観心こもる指揮ぶりだ
つた



⇨ 汐留驛の貨物室に陣取つて、自道から貨物運送の報告を受け、いち／＼大
きくうたがう大臣の眉宇にも、輸送陣總指揮官の重大責任に對する決
意がうかゞはれる
⇨ 下／＼と搬出される貨物。現場の力強い動きは陣頭に立つた大臣の眼
に鮮やかに映る

世 歴史をくつと大きく轉換させた日獨伊三國同盟締結の記念日を目前に迎へんとする時、帝國海軍が大西洋に進出する、またドイツ海軍が相呼應してインド洋に進出し、相互に緊密なる協同作戦の連環を遂げた旨の大本營発表は開戦以來、國民の血を沸かして来た從來幾多の發表と内容においてその趣を異にするものと、意味において全く劃期的であつた。即ち、開戦十ヶ月にして太平洋、インド洋の大半を制し、さらに遙か地球の反対側に於たる一方陸軍破方の大西洋を戦域に加へたこの雄渾な作戦は、帝國海軍が米英撃滅戦において地球上一つれの海域にも出撃し得る實力と決意を世界に開明したものである。第二次大戦開戦以前、米英は日獨伊が新らしき世界觀を達成せんがために互に提携して進んで来た秩序樹立の戦ひは、この極軸海軍の完全なる協同作戦により、世界新秩序樹立を目標とする世界大戦の相鏡を端的に具現したものと云へよう。

この極軸海軍の握手は如何に極軸三國の協力信頼が強固であるかを明らかにし、ます、その提携を緊密ならしめることは勿論、また極軸軍の握手こそは彼等が最も恐れたところであり、西南アジア、南東アフリカに彼等が懸命の努力を傾けて勢力を伸ばし、何んとかしてこれを阻止しようとしてゐたのであつた。今や彼等の最も恐れた極軸の握手は大本營発表の通り實現したのであるが、さらにこの握手は將來各方面に實現されるであらう。

過般ルーズヴェルト大統領は壇邊談話において世界戦線を四分し、まづ大西洋戦線を以て第一に擧げてゐる。太平洋戦線はハワ

い海戦以來、帝國海軍に甚大なる打撃を受け、その成算を喪つた今日、この戦線においては、そこに兵力を拮抗して一大反攻作戦の機を窺ひつゝ、まづ瀕死の英國を救ふべき海上輸血線たる大西洋戦線こそは敵米英陣營にとつてもつと痛切に勝敗を決すべき舞臺である。また先にルーズヴェルト、チャーチル會談において對極軸戦略の主要目標を今日のところまづ「ドイツ打倒」に置くことを再強調された上傳へられたが、これらよりして米英は今やこの第一戦線防衛に奮命しつゝあると見てよく、しかもこの時に我が海軍力の大西

洋進出と極軸軍を終局の勝利に推進する大なる契機をなすと共に、敵陣營に與へる打撃が物心兩面に亘つて如何に甚大であるかは想像に堪へない。

さらに極軸海軍の提携による脅威は、今や孤兒的存在に追ひつめられた、あるインド及び濠洲は勿論、南阿及び南米における敵性國家も一種底氣味悪き脅威を覺ゆると共に、米英頼むべからずといふ考へをいよいよ強化することであらう。

大本營海軍部部長
海軍少佐 濱田昇一

現実に、こゝに軸作同共軸極

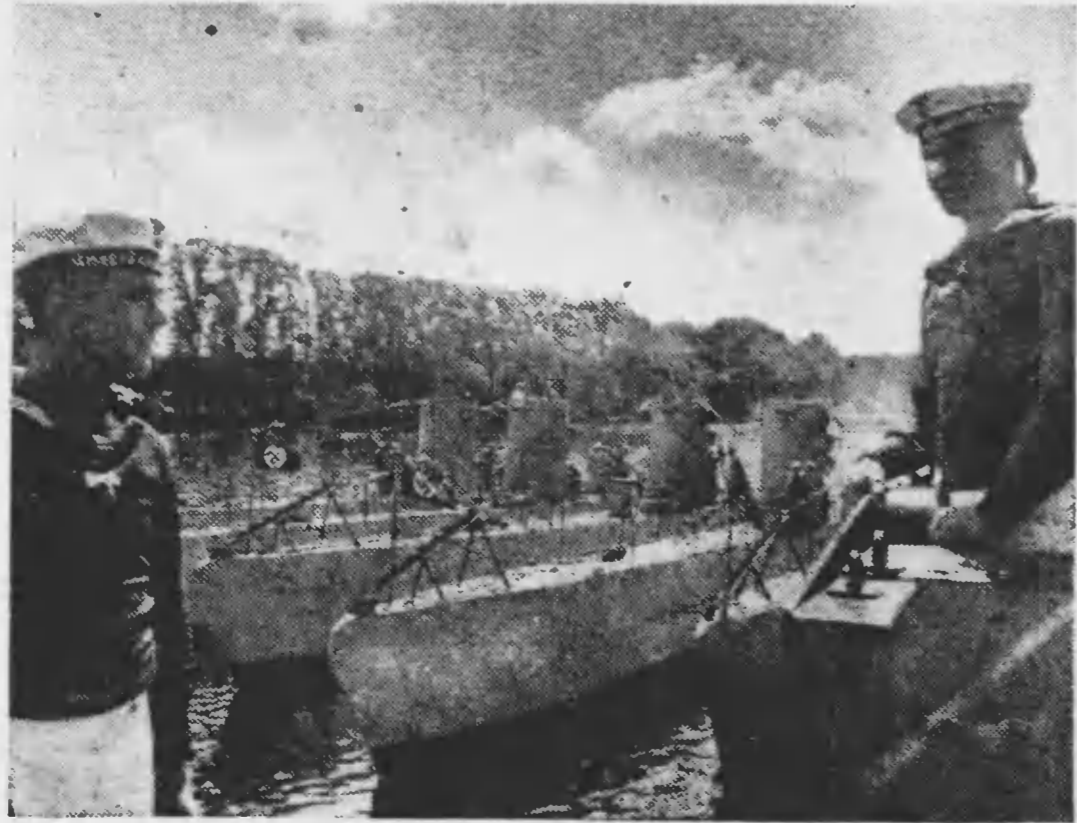


誌日争戦亞東大

一九二五年 一、帝國海軍兵力の一

二十三日 アリエーシャン列島方面帝國潜水艦は八月三十一日アトカ島ナザン群島を奇襲し米甲巡洋艦「ザンプトン」型一隻に大損害を與へ、さらに帝國潜水艦は九月中旬同方面において新潜水艦一隻を撃沈

の洋西大く遠は艦水潜がわ 地基〇〇軍海ツイドラた開閉旗ツイロクンケーハるあてのたつ艦を手接直と軍海ツイドラてえ艦を波

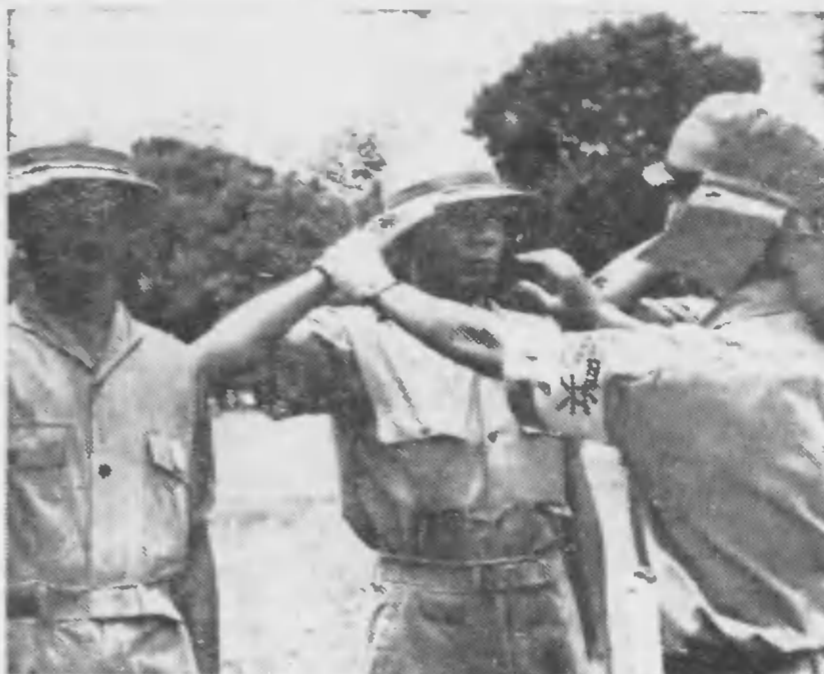


部は大西洋に進出し極軸海軍と協同作戦行動に従事中 二、今次帝國海軍の大西洋獨作戦區域における作戦行動は、獨海軍兵力一部のインド洋における作戦行動と相俟つて、極軸海軍協同作戦上その意義極めて重大 三、大西洋方面作戦中の帝國潜水艦の一隻は、最近歐洲の極基海軍基地に寄港し、再び作戦海域に向け出動

猛訓練
うける
マニラの警察官



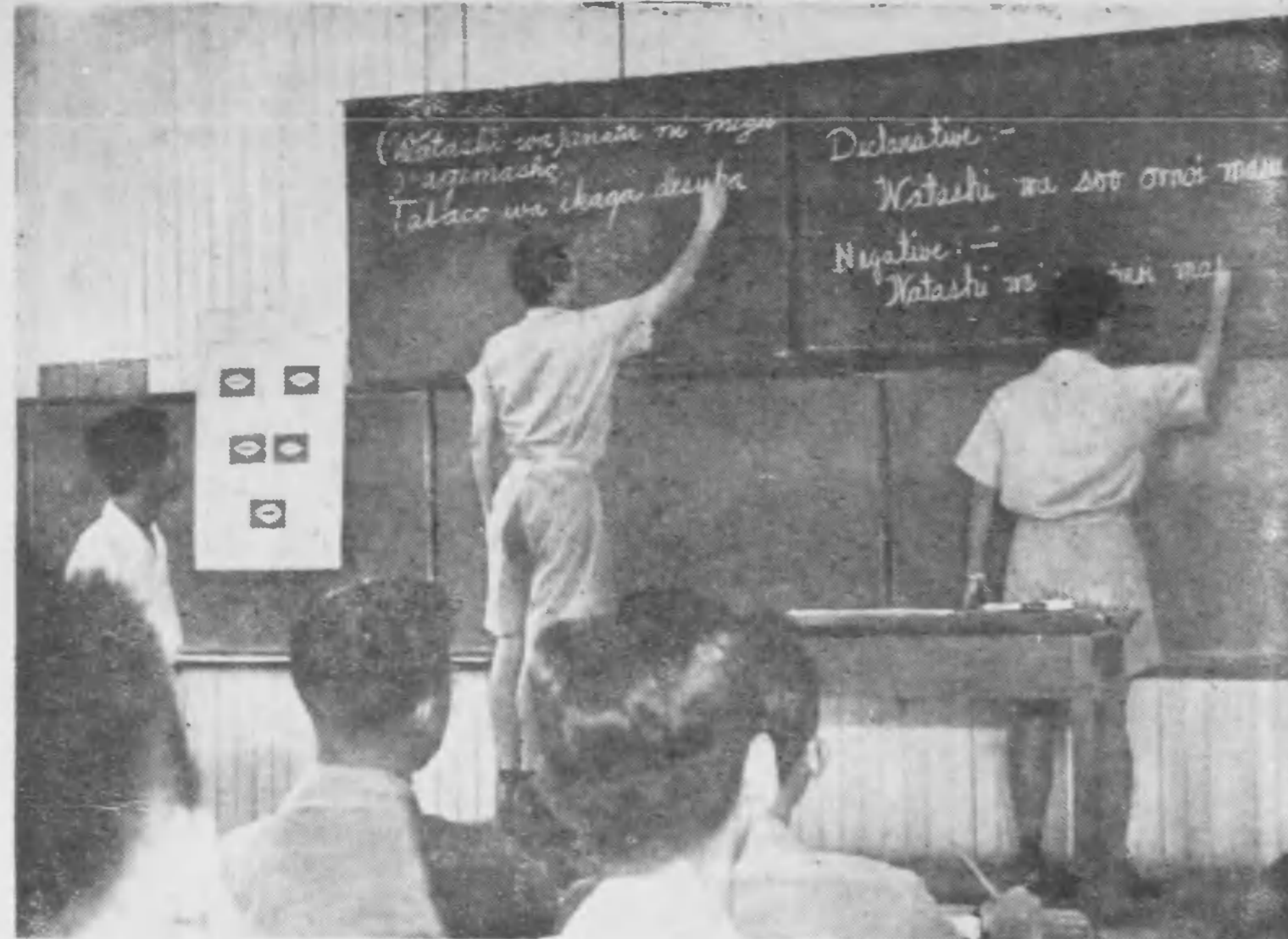
「サントレー」演習に日本語を、日オ軍将校の指導の下に、各名を代務に実施されてゐる。



フィリピンの治安第一線に立つべき比島人警察官の訓練所が日本軍の監督指導の下にマニラに開かれてゐる。こゝでは日本軍に積極的に協力して新比島再建に挺身する警察官の中隊分子や、地方警察官の指導者を養成するのが目的であるが、軍の指導の重点は精神陶冶にあるといへる。といふのは、米英的な考へ方が常識であつた彼等の以前の生活から、一足とびに東洋人としての自覚ある警察官に生れかゝることには、相當の精神陶冶が必要だからである。彼等はこゝで特訓の、協同の、忍耐の、責任の何たるかを身をもつて錬成する一方、

警官としての特殊技能を修得、心身とも一新たになつて民衆保護の重責をよたすわけである。

⇒ 彼等も今までのやうなシラケイとはだいぶ違つてきた。⇒ 彼等も今までのやうなシラケイとはだいぶ違つてきた。⇒ 彼等も今までのやうなシラケイとはだいぶ違つてきた。⇒ 彼等も今までのやうなシラケイとはだいぶ違つてきた。





ドイツ協会クラブに集った日英の慰問員共合作部隊
 傷病の身を養ふ日本の兵隊さんたちにつれづれの慰みをと、在京ドイツ婦人たちが心をこめた美しい贈物、白衣の勇士慰問「ドイツ文化風俗写真集」三百組が、軍人援護強化運動、日獨伊三國同盟二周年を間近に控へた九月二十五日、陸軍省へ届けられました
 これは先頃から約一ヶ月間、東京市豊島区平河町のドイツ協会クラブにオットー大使夫人をはじめ在京ナチス婦人職員四十餘名が集つて酷暑をよそに作り上げた力作で、美しい写真十枚を一組にまとめ、その一組毎に優しい慰問の手紙を添へたものです
 この日、陸軍省に木村次官を訪れたナチス婦人東京支部長エター夫人はめでたく奇蹟を遂へたあと、積極女性の意気と優しさを次のやうに語りました
 『日本の戦ひはまたドイツの戦ひでもあります。からして私どもが傷つた日本の兵隊さんたちをお慰めすることは同時に祖國ドイツへの奉仕でもあると信じます。あの貧しい贈物が少しでも白衣の勇士の方々をお慰めできればこんな喜びはありません』
 なほこの写真の製作には日獨婦人會側からも合議を伴つた東條総理夫人、荒木光太郎博士夫人らも参加し、それに女子科學堂の女生徒六名も特に懸投を買つて出て、大戦下にならぬ日獨親善風景を繰り展げたものでした
 木村陸軍次官に渡される五つの小冊、赤いリボン
 ドイツ婦人が原語で説明をつければ、その傍から女子科學堂のお嬢さんたちが日本語の説明を書きこんでいく
 木村陸軍次官に渡される五つの小冊、赤いリボンは日獨の友情と誓ひを固く結んでゐる

同協獨口モにニニ

の人婦ツイド京在
 に物贈たのこを心



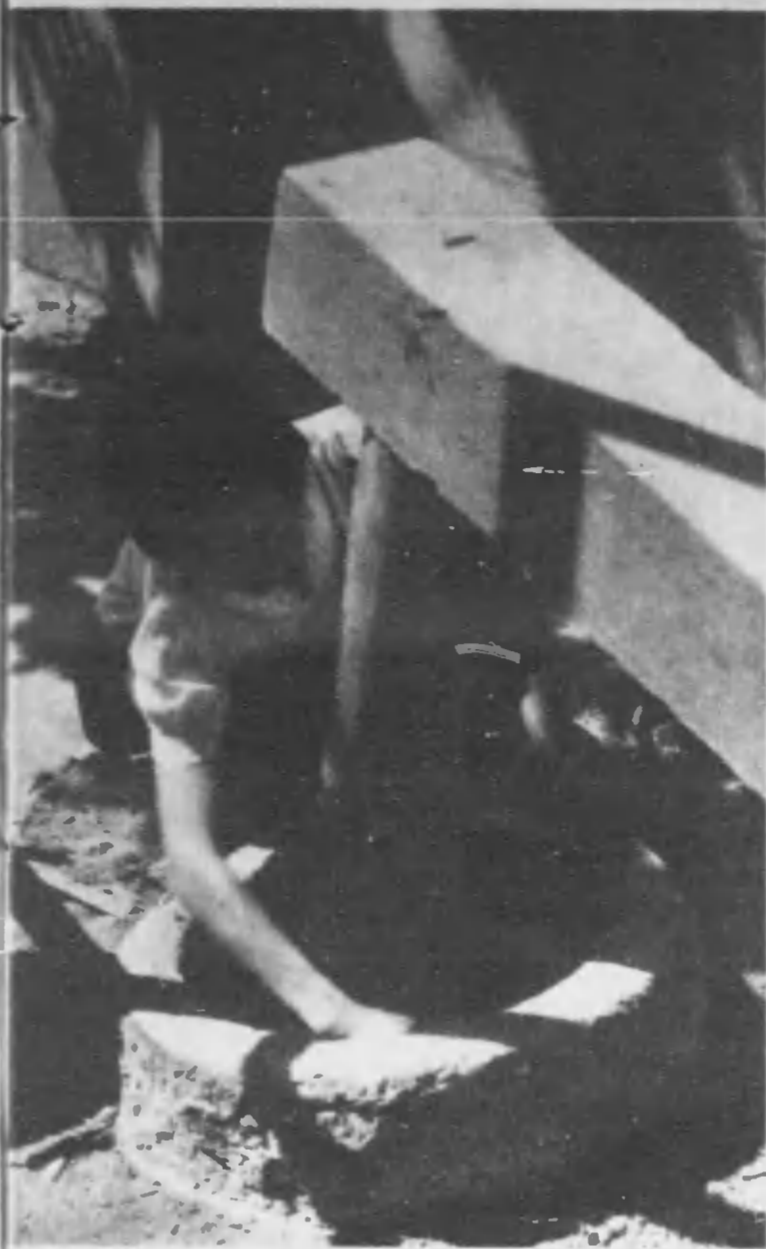
水原ならぬベンのもと、美しく積極女性の優しさをこめた慰問の手紙も綴られる

写真に見入る東條内閣総理大臣夫人と説明するエター、ナチス婦人東京支部長
 (中央)左端はオットー大使夫人、右端は荒木光太郎博士夫人

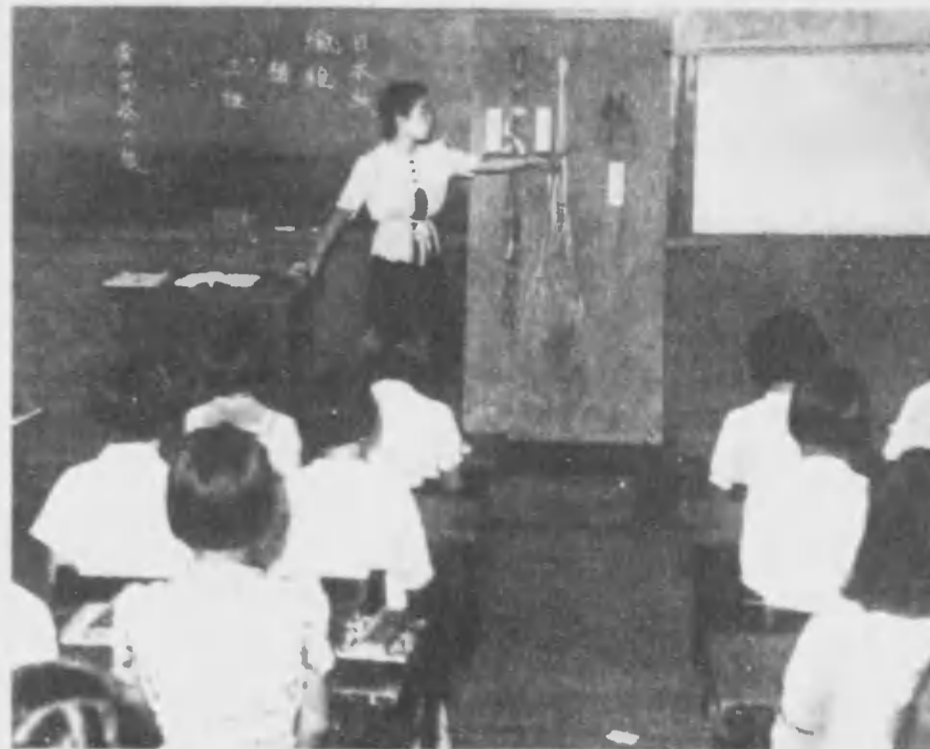
紙を漉く國民學校

大阪府布施市長榮國民學校

撮影 中藤 敦



釜で煮つめた原料は簡単な米つきのやうなもので叩いて繊維を分離させます。これはお餅をつくときと同じやうに臼の中で原料を混ぜておろすところから



一枚の紙でもそれが出来るまでには大変な手数がかゝるのです。まづ紙の種類によつてその原料も違つてきます



紙をすくには紙屑を大釜に入れてこれに苛性ソーダを加へ、一時間ほどドロ／＼になるまで煮つめます。煮つまるまで何回となくかき廻します



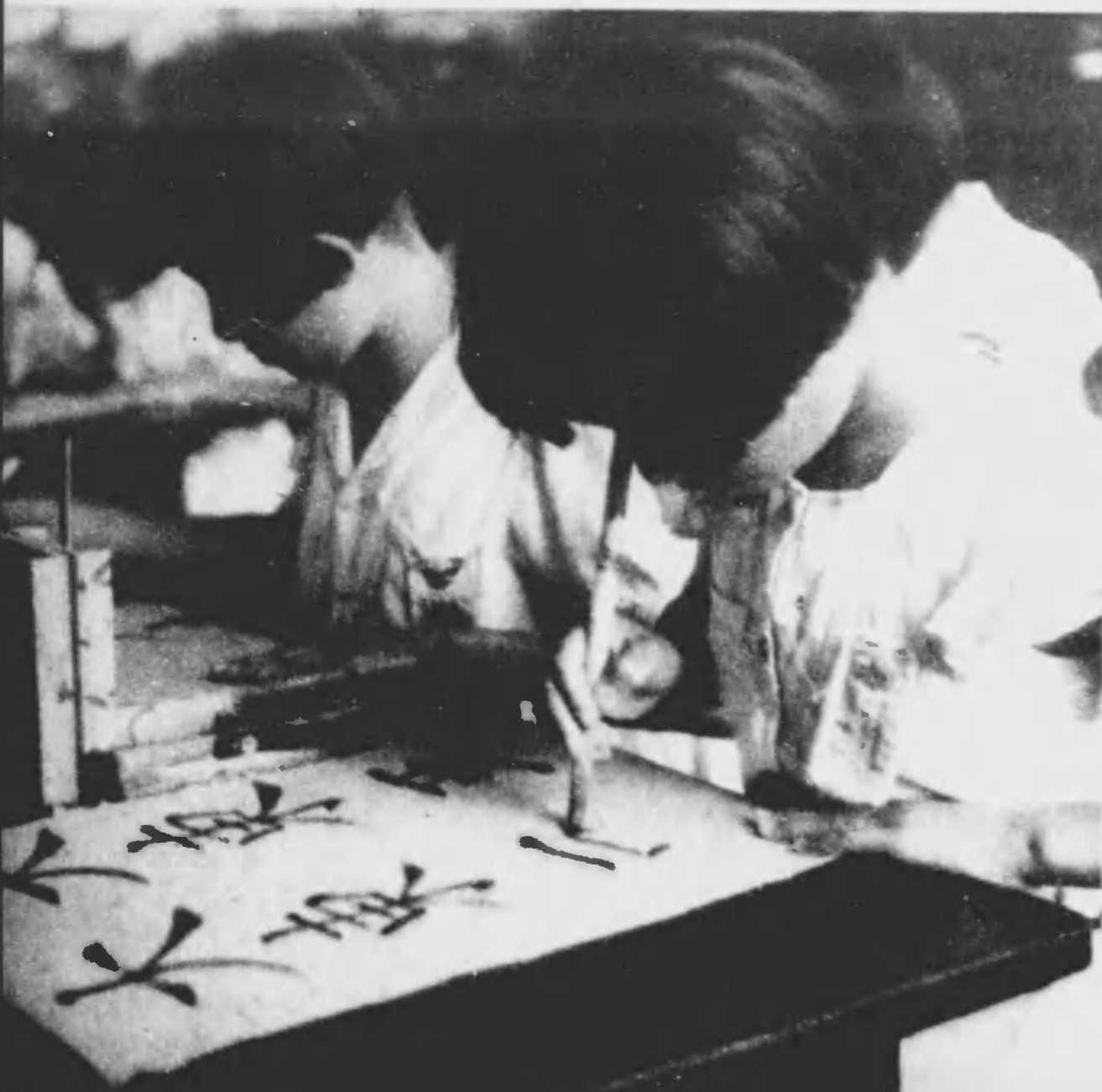
かうして出来た原料はこゝで水箱のなかへ入れ糊とパルプを混ぜていよいよ紙すきにかゝります。これは中々むづかしい紙が一箇所に寄つて高くなつたりして私たちは幾度も失敗しました



紙は文化の母であり思想の弾丸です。しかしこの大切な紙も私たちがこれまで何かといへば価値の低いもの代名詞のやうに『何だ紙の一枚ぐらゐ』と、とかく粗末に取扱ひがちでした。これは大戦下物資愛護の精神にもとるばかりでなく、高い文化をもつた國民の大きな恥辱であるといはなければなりません。

大阪府布施市長榮國民學校ではこの大切な紙への認識を通して物を愛する心、科學する心を養ふため、先頃から上級の女生徒たちに『紙づくり』をやらせて大きな成果を収めてゐます。一たん捨てた反古紙をこゝではどういふ風にもう一度新しい紙として役立ててゐるか、今日はこの紙を作る國民學校をみんなで見学いたしました。説明役は高等科二年の二階堂節子さんにお願ひしました。

からして出来上つた再生の紙は美しい紙を編んで便箋や封筒やノートを作り、皆々が大切に使つてゐます。むろ／＼お習字に使ふ用紙も私たちが作つたものです。





先生も生徒も 軍國の未亡人 岡崎市 太田 正徳

岡崎市戦後奉公會では昨年十月から市内の名刹蓮花寺内に和洋並に遺跡をおいた未亡人職業補習所を開設して、將來遺族たちが自立自営、いよ／＼家門の譽を揚げる事ができるように生計の途を與へてゐますが、指導はこれまた通ぐる上海戦で奮々たる武勳を擲つて散華した故中根陸軍中尉の未亡人がこれに當り、勇士の妻たちの良き友としての献身的な努力を賞讃されてゐます

「海外同胞」發表會 東京 吉川 俊三

遠く海外にあつて活躍する同胞に日本國民としての、また在留地住民としての生活のよ／＼とを與へようと、財団法人海外同胞中央會がかねて制定中であつた「海外同胞」の發表會は外務省、拓務省、情報局等の後援の下に九月十八日東京日比谷公會堂で盛大に行はれた。愛國の熱誠に燃えて「海外同胞」を唱和する海外同胞中央會幹事の訓勉生代表



大工さんも勝負の 豆蔵 設野

長野県更部郡の青木島國民學校では、このほど中支から凱旋した大工中野大平先生の發案で先生が戦地で痛感した建設と物資運搬の精神を實地に活かすことになり、小型製材機一臺を運び出して工作を始めたが、いまだに立派な豆蔵製材機ができて上り、自分たちの機が椅子はもろ／＼校長の破損箇所を修繕して引受けて木造の大工さん細工の活躍をしてみます

仲仕班長の職時輸送訓練 設野 清水 秀二

職時輸送の第一編組隊である運送班の仲仕たちを訓練して輸送力の強化をはからうと、長野縣の南北在久合同運送班、佐久通運會社では字佐美小隊隊長の肝煎りで各隊仲仕の班長を小隊に相集、このほど二日間徹夜の猛訓練で各種作業の實地指導を行ひ好評成績をあげました



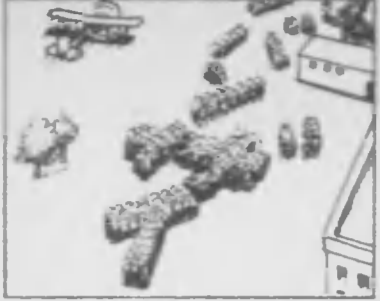
復習室

本報からあなたは何かを學んだか？

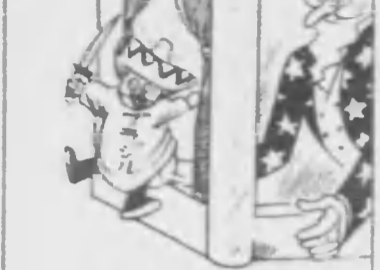
- 1 日獨伊三國同盟が結ばれてから今年は何周年になりましたか？ (12頁)
- 2 東條総理が東大の卒業式での訓辭にも引用した有名な古歌「みたみわれいけるしるしあも天地の」この下の句は何といひますか？ (4頁)
- 3 紙屑から再生紙の作り方を簡単に説明して下さい (20頁)
- 4 二、四、五、十の間にアラビヤン・システム方面で何か成果がありましたか？ (13頁)
- 5 炭坑で切羽といふのは何の石炭のこと？ 負傷すること？ (7頁)
- 6 甘藷を原料にして出来る製品のうち主なるもの三つをあげて下さい (16頁)
- 7 日本の潜水艦が大西洋で活躍してゐますが、ドイツの潜水艦も我が海軍に協力してゐる。洋で作戦中ですか？ (12頁)
- 8 熊本縣の千田村では従来反常の甘藷一萬斤にまで引上げられたのですが、何か秘訣があつたのでせうか？ (11頁)
- 9 このほど在東京ナチス婦人團から歸郷者へ東京慰問品が届けられました。これは何に届けられたもの？ 在東京ドイツ婦人が協力して下さへたもの？ (10頁)
- 10 フライリンの治安第一線に立つ警察官は、現地人を日本軍で訓練して養成してゐる。日本の警察官を現地に派遣して訓練してゐる。當分、かゝる方針？ (14頁)

一問十點としてあなたは何點でしたか？

誌日画漫争戦亞東大 介通 川石



問訪上編黨軍に日空航回三第



布袋を司令勳總ルジラブ



表發に出小を實事の職敗米



否拒戦停軍佛のルカスガダマ



るらめ沈で感る至點戰の英



りき！告警に民衆一ルダの米歸



照像器 街頭の清掃推進隊 小泉 紫郎

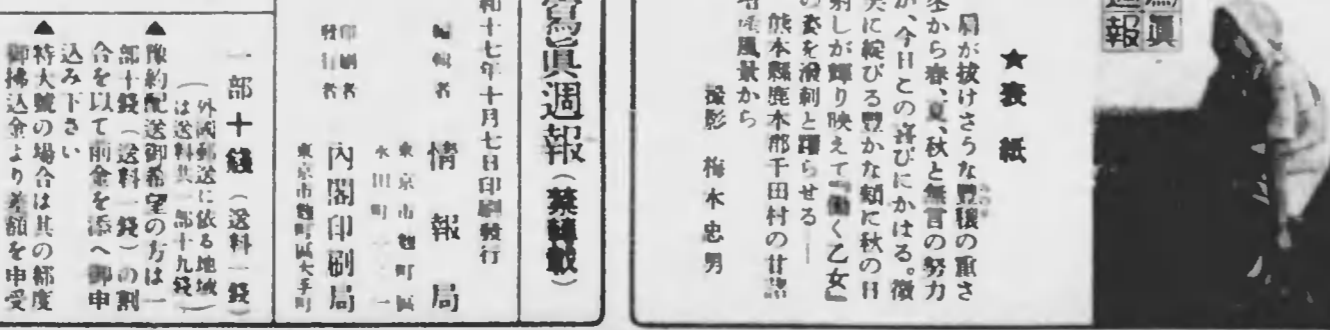


「大人は掃帚の職を所屬はず捨てていけません。こんなのを百からかけたらどうです。職話の空欄に狂々としたらどうです。これに捨てなさい」

とんだ忘れ物 森熊 猛

「をぶさん、掃帚をたへた後にこんな新聞紙おき忘れてあつたよ。リムクサックに入れて持つて置つて下さい」

手切丸彈りよこるし 一映本樓

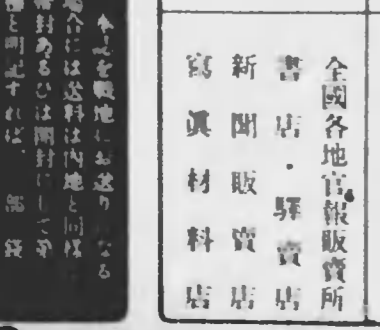


食坊 飯 イオ よるあがころし いしら珍 やお

「うかいてべ」

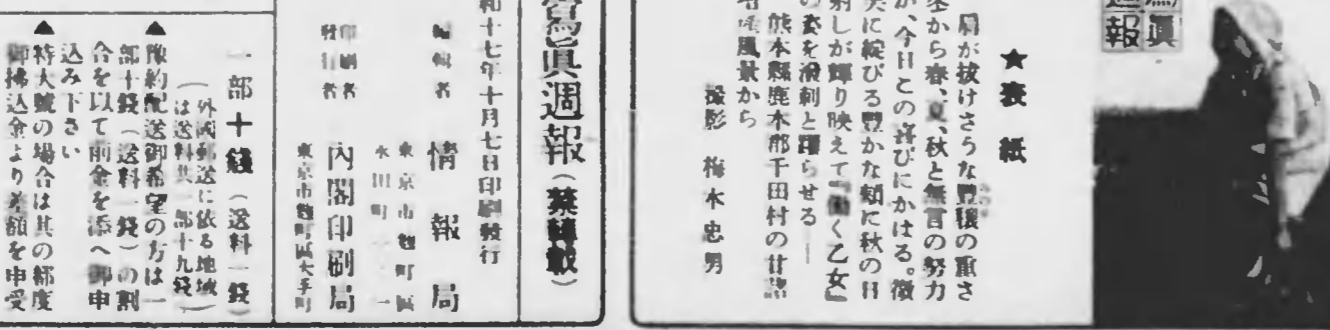
「しりよゝいがかの手切丸彈」 クボ 「いならい」

正常歩指導班長 秋 玲二



音楽に合せて、ホラ、オイ、チ、ニ、オイ、チ、ニ

赤信號 夫征 移



みを號信くよ よた目駄もちたんさちを もんさ父お

「ねのいなら守を則規通交にせくの人大 やちくた

寫眞週報(葉報載)

昭和十七年十月七日印刷發行

編輯者 情報局

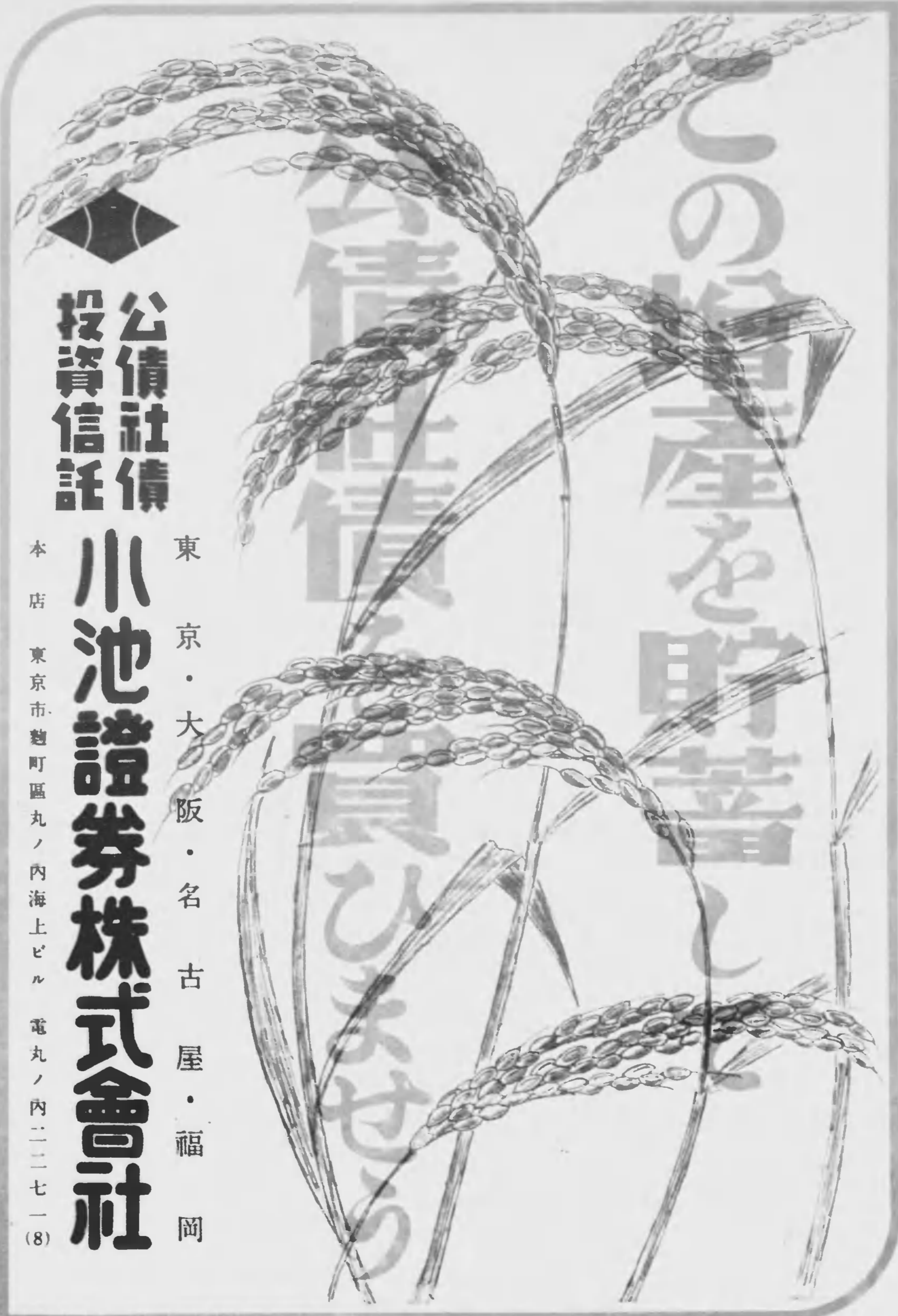
印刷者 内閣印刷局

發行所 東京市神田區外神田

★表紙

肩が抜けさうな重量の重さ冬から春夏、秋と無言の努力が、今日この喜びにかける微笑に輝ける豊かな顔に秋の日照しが輝り映えて「働く乙女」の本を演劇と躍らせる熊水麗鹿木都千田村の甘藷増産風景から撮影 梅本忠男

本報からあなたは何かを學んだか？



公債社債
投資信託

小池證券株式會社

東京・大阪・名古屋・福岡

本店 東京市麴町區丸ノ内海上ビル 電丸ノ内二二七一(8)

東京新聞 昭和十七年十月十七日 第三千五百一十一號

内閣印刷局印刷發行

(封筒紙用-A4形規定用はさき人の書)